

シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAPFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAPFの会員です。



東宝映画史

特別企画



用心棒 ©東宝

大手映画会社を特集する
シリーズ第五弾

世界の巨匠黒澤明監督作品をはじめとする
代表的作品をセレクト

青春の門
©東宝



みるん

レスター& スミトラ・ピーリス 監督特集

収蔵作品特集

スリランカの国民的監督であるレスター・ジェームス・
ピーリス監督と彼の妻であるスミトラ・ピーリス監督の特集



散歩の園



日が沈むところ



運命線





大学の若大将 ©東宝

細雪

●4月29日(日) 14:00
●5月13日(日) 11:00

おすすめ



1983年/35ミリ/カラー/140分/東宝

監督:市川崑 出演:吉永小百合、石坂浩二、岸恵子 ©東宝

戦前の関西の芦屋にある旧家の四姉妹をめぐる物語。原作は谷崎潤一郎の同名小説で、阿部豊と島耕二に続き、三度目の映画化作品です。監督の市川崑は映画化にあたり、原作の雰囲気や尊重しながら、ストーリーに一部変更を加えています。

市川崑は喜劇からサスペンス、文芸映画まで幅広くこなす監督ですが、その特徴はなんといってもその傑出した映像表現です。この作品ではモダンズムと呼ばれる彼一流の映像表現が、原作のイメージと巧く調和し、上品で存在感のある映像世界が展開しています。主演の俳優達も皆好演していますが、特に吉永小百合と石坂浩二が独特の余韻を残す演技が深く印象に残ります。戦前の兵庫県芦屋の旧家、蔭岡家。女ばかりの四人姉妹のこの家は、本家を長女でプライドの高い鶴子が婿をとって継ぎ、次女でしっかり者の幸子が結婚して分家となっている。三女でおとなしい雪子と現代的な四女の妙子は未だ未婚だが、訳あって本家ではなく、分家の幸子の家に暮らしていた。鶴子や幸子は年頃の雪子に見合い話を次々と持ち込むが、いずれも雪子の気に入らず、うまくいかない。一方、妙子は趣味の人形作りを生かして自活しようと考え…。80年代の文芸映画を代表する作品です。東宝創立50周年記念作品。

青い山脈・続青い山脈

●4月18日(水) 14:00
●4月30日(月・祝) 14:00
●5月 6日(日) 14:00

*途中5分間の休憩あり



1949年/35ミリ/モノクロ

183分/東宝=藤本プロ

監督:今井正

主演:原節子、池部良 ©東宝

終戦後の復興期に、主題歌とともに大ヒットとなった、石坂洋次郎原作の青春映画の名作。「青い山脈」「続青い山脈」で一つの作品と続いている。ある地方都市の高校。女子高校生の新子は学生の金谷と出会う。二人は交際を始めるが、ある日、新子のもとへラブレターが届き、新子は教師の島崎にそれを見せる…。閉鎖的な地方都市の高校を舞台にした抒情とユーモア溢れる作品。

山の音

●4月19日(木) 14:00
●4月22日(日) 11:00



1954年/35ミリ/モノクロ

94分/東宝

監督:成瀬巳喜男

出演:原節子、上原謙 ©東宝

原作は川端康成。これを水木洋子が脚色した。外に女を作り家庭を顧みない夫。それを知りながら同居する義父や義母に尽くす妻。義父は息子の嫁を不憫に思い、息子に意見するが…。川端文学の独特の情緒と情感を、成瀬のきめ細やかな構成と演出、映像美によって見事に映画化されている。主演の原節子、上原謙、山村聡もそれぞれの確かな演技をしており、中でも原の好演がひかる。

七人の侍

●4月25日(水) 14:00
●5月 3日(木・祝) 14:00
●5月11日(金) 14:00

*途中5分間の休憩あり



1954年/35ミリ

モノクロ/207分/東宝

監督:黒澤明

出演:志村喬、三船敏郎 ©東宝

世界的な巨匠である黒澤明の代表作であり、世界映画史に残る名作としても知られる作品。戦国時代、野盗化した野武士の集団によって苦しめられていたある村の農民達が、自衛のために侍を雇う決意をする。こうして軍師の勘兵衛以下個性的な七人の侍達が集められた…。時代劇に西部劇の面白さをとって作ったというこの作品は、三時間を超える大作だが、練り込まれた脚本、それぞれ際立ったキャラクター、圧倒的なアクションシーンによって、まさに娯楽映画の傑作となっている。

用心棒

●4月26日(木) 14:00
●5月 4日(金・祝) 11:00
●5月10日(木) 14:00



1961年/35ミリ/モノクロ

110分/東宝=黒澤プロ

監督:黒澤明

出演:三船敏郎、仲代達矢 ©東宝

黒澤明監督、三船敏郎主演による痛快娯楽時代劇。二組のヤクザがいがみ合う宿場町に桑畑三十郎と名乗る浪人もが現れる。滅法腕の立つこの浪人は、互いをけしかけて共倒れさせようと画策するが…。黒澤が娯楽に徹して完成させたのがこの作品であり、よく練られた脚本、個々のキャラクターの魅力、ユーモアを交えた演出とまさしく傑作といえる作品となっている。

青春の門

*途中5分間の休憩あり

●4月22日(日) 14:00
●5月 9日(水) 14:00



1975年/35ミリ/カラー

188分/東宝

監督:浦山桐郎

出演:田中健、吉永小百合 ©東宝

寡作で知られた浦山桐郎による五木寛之の有名な大河小説の第1部にあたる「筑豊編」の映画化。主人公の信介に田中健、その父、重蔵に仲代達矢、信介の義母に吉永小百合、幼なじみに大竹しのぶという豪華なキャストで作られている。主人公、信介の成長を通して筑豊炭鉱の30年史が語られながら、そこで生きた貧しく無名人々の苦しみや悲しみも情感豊かに描かれている。

あの旗を撃て

●4月19日(木) 19:00
●4月21日(土) 11:00



1944年/35ミリ/モノクロ

108分/東宝

監督:阿部豊

出演:大河内傳次郎 ©東宝

太平洋戦争の最中、日本の占領下にあったフィリピンで撮られた戦争映画の大作。監督の阿部豊以下、スタッフ、キャストが日本より多数、現地に乗り込み、フィリピン人役には現地の俳優を起用するなどした。フィリピン戦線でマニラ占領からコレヒドール島攻略までを描いている。戦意高揚映画ではあるが、日本を代表するスタッフ、キャストを動員して撮られた大作だけに重量感のある演出で、当時の日本映画の中でも特に完成度の高い作品として知られている。

隠し砦の三悪人

●4月27日(金) 14:00
●5月 4日(金・祝) 14:00
●5月11日(金) 19:00



1958年/35ミリ/モノクロ

139分/東宝

監督:黒澤明

主演:三船敏郎、上原美佐 ©東宝

戦国時代、山名家に破れた秋月家の武将、真壁六郎太は秋月家の世継ぎ、雪姫と軍資金の金塊を持って隠し砦に立てこもる。六郎太は偶然であった二人組の百姓を利用し、同盟国の早川領への脱出を企てる。こうして雪姫と六郎太、百姓二人による脱出行が始まった。黒澤が菊島隆三、小国英雄、橋本忍という三人の脚本家と練り上げた、シナリオも秀逸なスリルとサスペンス、そしてユーモアも満点の娯楽時代劇。

日本のいちばん長い日

●5月 5日(土・祝) 14:00
●5月12日(土) 14:00



1967年/35ミリ/モノクロ

157分/東宝

監督:岡本喜八

出演:三船敏郎、山村聰 ©東宝

原作は大宅壮一が、ポツダム宣言を受け入れるまでを当時の関係者などから取材したノンフィクション。これを橋本忍がドラマとして脚色、岡本喜八が監督した。日本のいちばん長い日となった8月14日正午から、玉音放送が流れる15日の正午までをメインに政府や軍部の上層部の様子を緊張感溢れるタッチで描いた。出演者も100名近くにのぼったという東宝創立35周年記念超大作。

大学の若大将

●4月27日(金) 19:00
●5月 5日(土・祝) 11:00
●5月12日(土) 14:00



1961年/35ミリ/カラー

83分/東宝

監督:杉江敏男

出演:加山雄三、星由里子 ©東宝

大型新人であった加山雄三を売り出すために企画され、青春映画のシリーズとしては異例の長寿シリーズとなった「若大将」シリーズの第一作。老舗のすきやき屋「田能久」の跡取り息子、雄一は大学では水泳部に籍を置く好青年。一方的に彼をライバル視する同級生の石山は、OLの澄子に目をつけるが、彼女は雄一に首っつけ。彼女の急場を救ったことから雄一も彼女に惹かれていくが…。

収蔵作品特集

スリランカの国民的監督であるレスター・ジェームス・ピーリス監督と彼の妻であるスミトラ・ピーリス監督の特集

レスター&スミトラ・ピーリス監督特集

4月4日(水)~15日(日)

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

* 定員制。各回入替制。* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)* 「わの会」会員は250円(会員証の提示が必要です。)

変革の時代 The Age of Kali

●4月 5日(木)14:00
●4月14日(土)11:00



1982年/35ミリ/カラー/85分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:レスター・ジェームス・ピーリス
出演:ヘンリー・ジャヤセーナ
ブニヤ・ヒンデニヤ

スリランカ文学の巨匠マーティン・ウィクラマシンハ原作小説の映画化作品。大都市コロンプに住む夫婦を中心に、変わりゆく社会の中で上流階級の家族がバラバラになっていく姿が描かれる。本作は80年代のスリランカ映画の中で最も優れた作品の一つと評価されている。

湖畔の邸宅 Mansion by the Lake

●4月 7日(土)14:00
●4月11日(水)14:00



2002年/35ミリ/カラー/124分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:レスター・ジェームス・ピーリス
出演:マリーニ・フォンセカ
ラウィンドラ・ランデニヤ

チェホフの戯曲「桜の園」から着想を得て、大家族制が崩壊した80年代後半のスリランカ社会を描いた作品。かつて資産家だったラージャス・リヤ夫人だが、今では借金のため古い邸宅は競売にかけられようとしていた。家名のため夫人は知り合いに援助を頼むのだが、誰も助けてはくれないのだった。

運命線 The Line of Destiny

●4月 4日(水)14:00
●4月15日(日)11:00



1956年/35ミリ/モノクロ/89分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:レスター・ジェームス・ピーリス
出演:ソーマバーラ・ダルマプリヤ
アイランガニー・ミーデニヤ

レスター・ジェームス・ピーリス監督の最初の劇映画。南インド文化の影響から脱した初のスリランカ映画であり、以後のスリランカ映画の方向性を決定した記念碑的な作品。病気を治す力があると予言された少年と、そのことが村に呼び起こす騒動を描いた作品で、素人を俳優に起用した叙情的な映像が世界の注目を浴びた。

長女 The Eldest Daughter

●4月 8日(日)14:00
●4月12日(木)14:00



1993年/35ミリ/カラー/150分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:スミトラ・ピーリス
出演:サナトゥ・グナティラカ
ギーター・クマラシンハ

スリランカ初の女性監督であるスミトラ・ピーリス監督作品。一貫して社会の中で女性の置かれている地位や束縛について描いてきたスミトラ・ピーリス監督だが、本作では都会の中流家庭の魅力的で献身的な長女が、古い家族の価値観の中に閉じこめられている姿が描かれる。

散歩の園 The Garden

●4月 7日(土)11:00
●4月14日(土)14:00



2003年/35ミリ/カラー/111分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:スミトラ・ピーリス
出演:サナトゥ・グナティラカ
カーンチャナー・メンディス

政府高官で40代の独身男性ティッサは、20代の若い女性プレーマーと結婚をする。ティッサの趣味は広い屋敷の庭の手入れという生真面目な男性だった。ある日モスクワに留学していたティッサの弟・ランジャンが帰国してくる。プレーマーは彼に心を動かされる。夫婦の心の葛藤が繊細な映像で描かれる。

日が沈むところ Where the Sun Sets

●4月 6日(金)14:00
●4月15日(日)14:00



1994年/35ミリ/カラー/170分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:レスター・ジェームス・ピーリス
出演:ジョー・アペーウィクラマ
アイランガニー・セーラシンハ

裕福な商人であるサティガラには二人の息子と一人の娘がいる。子ども達はそれぞれ結婚し独立するが、次第に父親の財産を巡って争いあうようになる。年寄りのサティガラ夫婦にはもはやどうすることもできない。世代による価値観の違いと、家族の崩壊が静かな映像で叙情的に描かれていく。* 途中5分間の休憩あり

マザー・アローン Mother Alone

●4月 8日(日)11:00
●4月13日(金)14:00



1997年/35ミリ/カラー/127分
スリランカ/日本語・英語字幕付き
監督:スミトラ・ピーリス
出演:サンギーター・ウィーララトゥナ
トニー・ラナシンハ

裕福な家庭の娘トゥッシャーリは、親の勧める結婚相手に納得できず、別の男性と交際し妊娠してしまう。その後父親が経営する店が倒産してしまう。トゥッシャーリは結婚せずに一人で子供を育てる決心をする。イギリス植民地時代のスリランカを舞台に、一人の女性の心の成長を描いた作品。

駅前旅館

●4月26日(木)19:00
●5月 6日(日)11:00
●5月12日(土)17:30



1958年/35ミリ/カラー
109分/東宝=東京映画
監督:豊田四郎
出演:森繁久彌、伴淳三郎 ©東宝

井伏鱒二の原作を、文芸映画を得意とした豊田四郎が映画化した風俗喜劇。生野は上野駅前の旅館で30年番頭を務めるベテラン。ライバル旅館の番頭、高沢とは仕事上では張り合うが友だちでもある。ある日、上野駅前の悪質な客引きが問題になり、生野は駅前浄化運動のリーダーとして立ち上がるが…。その後、シリーズ化され、「社長」シリーズと並んで東宝の看板シリーズとなった「駅前」シリーズの第一作。

続社長太平記

●4月20日(金)19:00
●4月29日(日)11:00



1959年/35ミリ/カラー
104分/東宝
監督:青柳信雄
出演:森繁久彌、小林桂樹 ©東宝

1950年代後半から60年代にかけて30本以上製作された喜劇シリーズ「社長」シリーズの一編。女性下着メーカーの鑑商事社長・牧田は、ライバルのさくら商會の本拠地である九州での支社開業のために現地へ。しかし地元業者への接待の席で、支社長が大失敗を起こし、窮地に立たされる…。女好きでどこかどろけた社長を森繁と、熱血社員小林桂樹を中心に、加東大介、三木のり平などが登場するお気楽喜劇である。

ニッポン無責任時代

●4月20日(金)14:00
●4月28日(土)11:00



1962年/35ミリ/カラー
86分/東宝
監督:古澤憲吾
主演:植木等、ハナ肇 ©東宝

コミック・バンド「クレージー・キャッツ」のボカールとして一躍スターとなった、植木等がヒット曲「スーダラ節」のイメージそのままの、お調子者を演じた映画初主演作。失業中の平均は生来の調子の良さを發揮して、大手洋酒会社に潜り込み、口八丁手八丁であっとゆうまに社長にまで出世するというサラリーマン喜劇。公開と同時に予想以上の人気を獲得、シリーズ化された60年代日本喜劇映画を代表する作品。

日本誕生

* 途中5分間の休憩あり
●4月28日(土)14:00
●5月13日(日)14:00



1959年/35ミリ/カラー
180分/東宝
監督:稲垣浩 特技監督:円谷英二
出演:三船敏郎 ©東宝

東宝の映画製作1000本の記念映画として作られた。イザナギ・イザナミの日本創世からヤマトタケルの冒険など日本神話の物語が、当時の特撮技術の粋を集めた映像で展開する。出演も三船敏郎、鶴田浩二、司葉子、原節子、田中絹代などオールスター・キャストによる一大スペクタクル大作である。

空の大怪獣ラドン

●4月21日(土) 14:00
●5月 3日(木・祝)11:00



1956年/35ミリ/カラー
82分/東宝
監督:本多猪四郎 特技監督:円谷英二
出演:佐原健二 ©東宝

日本初のカラー怪獣映画。初代「ゴジラ」を凌ぐ2億円の製作費をかけた。阿蘇付近の炭鉱の中で起こる謎の殺人事件に始まり、大怪獣ラドンが空を駆けめぐり、世界を恐怖の渦に巻き込む後半、そして感動的なラスト。空を舞うラドンのスピード感や、精巧に作られたミニチュアによる当時の福岡の街を、ラドンが襲撃するシーンなどの特撮の迫力も凄まじい。「ゴジラ」と並ぶ東宝怪獣映画の傑作。

ゴジラVSスペースゴジラ

●4月30日(月・祝)11:00
●5月10日(木) 19:00



1994年/35ミリ/カラー
108分/東宝
監督:山下賢章
出演:橋爪淳、小高恵美 ©東宝

1954年の初登場以来、怪獣映画という新しいジャンルを創造し、復活を繰り返しながら続いてきた人気シリーズ「ゴジラ」。その第21作がこの「ゴジラVSスペース・ゴジラ」である。映画では対ゴジラ用兵器「モグラ」や前作で登場したベビー・ゴジラが成長したリトル・ゴジラも登場、凶暴な宇宙怪獣スペース・ゴジラとゴジラは宇宙空間にまで舞台を広げ、死闘を展開する。

1日 休映日

2月 休館日

3日 休映日

4 水

5 木

6 金

7 土

8 日

9 月

10 火

11 水

12 木

13 金

14 土

15 日

レスター&スミトラ・ピール監督特集

(14:00) 運命線

(14:00) 変革の時代

(14:00) 日が沈むところ

(11:00) 散歩の園 (14:00) 湖畔の邸宅

(11:00) マザー・アローン (14:00) 長女

休館日

休映日

(14:00) 湖畔の邸宅

(14:00) 長女

(14:00) マザー・アローン

(11:00) 変革の時代 (14:00) 散歩の園

(11:00) 運命線 (14:00) 日が沈むところ



日が沈むところ



変革の時代



散歩の園

16 月 休館日

17 火 休映日

18 水

19 木

20 金

21 土

22 日

23 月

24 火

25 水

26 木

27 金

28 土

29 日

30 月(祝)

5/1 火

2 水

3 木(祝)

4 金(祝)

5 土(祝)

6 日

7 月

8 火

9 水

10 木

11 金

12 土

13 日

東宝映画史

(14:00) 青い山脈・続青い山脈

(14:00) 山の音 (19:00) あの旗を撃て

(14:00) ニッポン無責任時代 (19:00) 続社長太平記

(11:00) あの旗を撃て (14:00) 空の大怪獣ラドン

(11:00) 山の音 (14:00) 青春の門

休館日

休映日

(14:00) 七人の侍

(14:00) 用心棒 (19:00) 駅前旅館

(14:00) 隠し砦の三悪人 (19:00) 大学の若大将

(11:00) ニッポン無責任時代 (14:00) 日本誕生

(11:00) 続社長太平記 (14:00) 細雪

(11:00) ゴジラVSスペースゴジラ (14:00) 青い山脈・続青い山脈

休館日

休館日

(11:00) 空の大怪獣ラドン (14:00) 七人の侍

(11:00) 用心棒 (14:00) 隠し砦の三悪人

(11:00) 大学の若大将 (14:00) 日本のいちばん長い日

(11:00) 駅前旅館 (14:00) 青い山脈・続青い山脈

休館日

休映日

(14:00) 青春の門

(14:00) 用心棒 (19:00) ゴジラVSスペースゴジラ

(14:00) 七人の侍 (19:00) 隠し砦の三悪人

(11:00) 大学の若大将 (14:00) 日本のいちばん長い日 (17:30) 駅前旅館

(11:00) 細雪 (14:00) 日本誕生



あの旗を撃て ©東宝



青い山脈・続青い山脈 ©東宝



日本のいちばん長い日 ©東宝

収蔵作品特集

イラン映画傑作選

福岡市博物館

「ペルシャ文明展〜煌めく7000年の至宝〜」協賛

5月16日(水)〜6月2日(土) *休館日・休映日除く

●上映作品

「春へ」

1985年/監督:アボルファズル・ジャリリ

「友だちのうちはどこ?」

1987年/監督:アッバス・キアロスタミ

「オフ・ザ・リミット」

1988年/監督:ラクシャン・パニエテマッド

「サイクリスト」

1989年/監督:モフセン・マフマルバフ

「魅惑」

1992年/監督:アリ・ハタミ

「ワンス・アポン・ア・タイム、シネマ」

1992年/監督:モフセン・マフマルバフ

「神さまへの贈り物」

1996年/監督:モハマッド・アリ・タレビ

「天使のような子どもたち」

1997年/監督:マジド・マジディ

「新生」

1998年/監督:モジュタバ・ライー

「ふたりのミナ」

2000年/監督:モハマッド・ホセイン・ラティフィ

「ささやき」

2000年/監督:バルビズ・シャーバズィ

「ザ・リザード」

2004年/監督:カマル・ダブリーズィー

「おやすみなさい、兵士たち」

2006年/監督:エンズィエ・シャー・ホセニー



サイクリスト



友だちのうちはどこ



天使のような子どもたち

■ ホームページ

「うえぶシネラ」をご覧ください。

●うえぶシネラアドレス

<http://www.cinela.com>

I N F O R M A T I O N

■「わの会」会員の皆様へ

映像ホール・シネラでは、4月の上映から、(財)福岡市文化芸術振興財団の「わの会」会員の皆様に、高齢者料金と同額の割引料金でお楽しみいただくことになりました。(会員証の提示が必要です。)

「わの会」は、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館などの活動の応援・サポートを目的としています。「わの会」の年会費、会員特典など詳細は、同財団 わの会事務局(TEL 092-263-6257)にお尋ねください。または同財団ホームページ(<http://www.ffac.or.jp>)をご覧ください。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: *天神〜都市高速経由〜福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約20分) *博多駅〜都市高速経由〜福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約25分) 福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10〜15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館

(代表) 092 (852) 0600

映像資料課 092 (852) 0608

FAX 092 (852) 0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

ホームページアドレス

<http://www.cinela.com>